

殺菌灯用安定器ご使用時の注意

必ず適合するランプと組み合わせ、安定器は設置場所の電源電圧・周波数にあった製品をご使用ください。蛍光灯用安定器は使用できません。

◎ 周囲温度0～45℃の範囲内でご使用ください。
周囲温度が高い、または他の熱源からの影響を受けやすい場合は、短寿命や不具合の原因になります。

◎ 温度確認
器具に取り付け後、必ず温度確認をしてください。

◎ 50Hz, 60Hzリード線付き安定器使用時
切替スイッチを使用する場合、スイッチ1個に対して安定器は1台使用としてください。






◎ 殺菌灯用安定器の電源側リード線及びランプ側リード線について
電源側リード線(黒・茶→電源へ)、ランプ側リード線(白→ソケットへ)、電源側リード線は周波数に応じたリード線をご使用ください。また未使用のリード線はテーピング等で必ず絶縁処理をしてください。

1. 安定器を2台以上並列される場合は、安定器1台分以上の間隔を空けてください。
2. 安定器をケースや器具に収納する場合は、容積を十分に設け、通気性を確保し安定器が過熱しないようにしてください。
3. 安定器が光源に近い場合は、光源の熱の影響を受けますので、熱を遮蔽する仕切りを設置するなど十分な間隔を空けてください。
4. やむを得ず狭いところや通気性が無く熱がこもりやすい環境でご使用の場合は、定期的に強制換気などを行い、安定器が過熱しないようにしてください。

以下の禁止事項を必ずお守りください。

殺菌ランプは目に見える場所に設置しませんので、定期的な確認が必要です。

■標準使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯とする。周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合、安定器の寿命が短くなります。

-  安定器のケースを開けたり、改造しないでください。
感電、漏電、発煙、発火の危険が生じる原因となります。
-  誤って落下させた安定器は使用しないでください。
感電、漏電、発煙、発火の危険が生じる原因となります。
-  電源、電圧が急変する場所でのご使用はできません。
-  殺菌ランプの不点灯及び予熱状態、点灯管の不点滅状態で安定器を使用(通電)しないでください。安定器の温度上昇による発煙、発火の原因になることがあります。
-  標準使用条件において、8～10年を経過した安定器は絶縁性能が低下していますので使用しないでください。